

ピッケのつくるえほん CE (Classroom Edition)



物語を、つくり・語り・分かちあおう

「ピッケのつくるえほん」は、おはなしづくりソフトです。

画面上の簡単な操作で、コブタのピッケや仲間たちを主人公におはなしづくり。プリンターで印刷すれば絵本をつくることができます。電子黒板やプロジェクターを利用してプレゼンテーションができます。物語をつくり・語り・分かちあう、物語を通じた創造表現活動は自己肯定感を高め、21世紀を生きる子どもたちの「つくる力」と「伝える力」を育てます。



つくる

想像力+創造力+表現力



伝える

プレゼンテーション力
+コミュニケーション力



活動の3ステップ

1 物語をつくる。

2 物語を外へ取り出す。

3 物語を語り、分かち合う。



印刷

おはなしづくり



切って
折って
綴じて



できあがり!



自作を自分の声で語ります



操作はとっても簡単

各種コマンドは画像アイコンで表示、直感的にわかるインターフェースです。ポーズの変更をインタラクティブに行える、喜怒哀楽の感情バリエーションを選べるなどにより、発想を促し物語を深めます。

すべての操作は
左クリックと
ドラッグのみ



ポーズの変更や
表情の選択が
簡単に行えます



「ピッケのつくるえほん」は
子どもたちの創作活動に
寄り添い支援します。

You
did it!





ピッケのつくるえほん CE アクティビティ



創造表現活動で、「つくる力」と「伝える力」を伸ばします

つくる喜びを味わう

物語の世界で心を解き放ち自由に遊ぶことは、子どもたちの心を楽しみで満たします。

コミュニケーションの基盤を育てる

自分のつくったお話を人に聞いてもらうことは、嬉しく誇らしいものです。認められることで子どもたちの心の中に、自分を肯定し人を信頼できるコミュニケーションの基盤が育ちます。

つくる側になる

現代社会では、食材もオモチャもつくる側と使う側が分かれてしまっています。生活に身近な絵本をつくることで、その境を越えることが当たり前になります。



例えばこんな使い方

おはなしをつくろう

「いつも買ったり借りている絵本。今日は皆が作ります」ポーズをつけ、顔の表情を選び、文字を入力して物語をつくります。出力して製本。電子黒板上で画面をプレビューしながら自作を発表。互いに鑑賞します。



かけ算絵本をつくろう

自分の作った文章題を絵本にしようとする時、あいまいな理解のままでは表現することができません。つまずいている箇所が浮彫りになります。



下級生のための教科書をつくろう

難しいことをやさしく、やさしいことを楽しく、相手の視点に立って、わかりやすく読みたくなる教科書をつくります。物語絵本との違いを考え、表現を工夫します。



絵本を贈ろう（異世代・異文化との交流）

贈る相手に想いを馳せると、テーマや言葉を大切に選びます。交流を通して、互いを知り尊重します。

国語、算数、英語、情報、総合などはもちろん、特別支援教育にもご活用いただけます。

- * 英語やローマ字の絵本もつくれます。
- * クラス分けフォルダがあり、管理画面から一括管理できます。
- * おはなしデータの保存場所を、学内LAN上の共有フォルダなど任意のフォルダに指定できます。
- * 万が一の時にも安心なオートセーブ機能があります。



「ピッケのつくるえほん」ホームページで詳細をご覧ください。

使用シーンの動画や子どもたちによる絵本作品の他オンラインで操作感をお試しいただける無料体験版もあります。

ピッケのつくるえほん <http://www.pekay.jp/>

ピッケのつくるえほん CE アカデミック価格（税別）

パッケージ版	4,800円
追加ライセンス	4,000円
1校ライセンス	300,000円

販売総代理店：ダイワボウ情報システム株式会社



「ピッケのつくるえほん」に登場するキャラクターは「ピッケのおうち」の仲間です。

「ピッケのつくるえほん」
「ピッケのおうち」

「ピッケのおうち」は、第2回キッズデザイン賞および子ども向けウェブサイトとしてはじめてのグッドデザイン賞を受賞しました。

ピッケのおうち <http://www.pekay.jp/>

企画・デザイン・制作：朝倉民枝（株式会社グッド・グリーンフ）
開発：株式会社グッド・グリーンフ
お問い合わせ： help@pekay.jp

